

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	An international study of Superoxide dismutase 1 pathology in Parkinson disease (Parkinson 病剖検脳組織における Superoxide dismutase 1 病理に関する国際研究)
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>研究対象者：新潟大学脳研究所病理学分野における病理組織学的検索によりパーキンソン病と病理学的に診断された患者さんと、神経疾患を持たない患者さんで、新潟大学からは各5名です。</p> <p>したがって、下記の期間に本研究の対象となる患者さんのご遺族で、死体解剖保存法に則った病理解剖時に、診断を確定するとともに病気解明のための医学研究を行うことを説明され、文章で同意いただいている方が本研究の対象です。</p> <p>対象期間：2002年9月から2025年8月まで</p>	
③概要	
<p>パーキンソン病は、脳のはたらきの変化によって、体が動かしにくくなる、手足がふるえる、筋肉がこわばる、歩きにくくなるなどの症状があらわれる病気です。この研究はシドニー大学を中心とした国際的な共同研究で、疾患の原因となる共通した機序を見つけるため、多数の国からパーキンソン病の患者さんに対する解析を行います。今回、解剖にご協力いただいた方でPDと病理学的に診断された方の中から、診断の際に作製した標本と採取した組織を共同研究として使用いたします。</p> <p>対象となるご遺族様におかれましては、本研究にぜひともご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、承諾されないという場合は、下記「⑪お問い合わせ先」までご連絡ください。承諾されないというご判断は尊重され、ご遺族様が不利益を被ることはございません。</p>	
④申請番号	G2026-0002
⑤研究の目的・意義	シドニー大学で研究されている新規経路が、疾患の段階やタイプ、患者の人種や地理的位置に関係なく、世界中のパーキンソン病患者に共通するものであるかどうか調査を行い、病気の共通した機序を見つけることを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から西暦2029年11月13日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>新潟大学脳研究所病理学分野のスタッフにより、病理解剖にて採取した脳組織（凍結保存脳組織、並びにホルマリン固定後パラフィン包埋組織の未染色標本）および付随する患者さんの情報（年齢、性別、疾患名・罹病期間）を共同研究先に提供します。</p> <p>新潟大学脳研究所から共同研究先に試料を送る際には特定の個人を特定することができないように匿名加工をした状態で提供し、対応表は提供しません。共同研究を行っているシドニー大学において遺伝子とタンパク質の発現解析を行います。</p>
⑧利用または提供する	年齢、性別、疾患名・罹病期間

情報の項目	
<p>㊦利用する者の範囲</p>	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学脳研究所 病理学分野 柿田 明美 脳疾患標本資源解析学分野 他田 真理 病理学分野 濱崎 英臣</p> <p>共同研究機関： The University of Sydney Prof. Kay Double Dr Benjamin Trist Dr David Mor Ms Freyja Persson-Carboni Ms Piper O'Grady Ms Veronica Cottam,</p>
<p>㊦試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田 明美</p>
<p>㊦お問い合わせ先</p>	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学脳研究所病理学分野 氏名：柿田 明美 Tel：025-227-0633 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp</p>